

第40回世論調査

富士市の「選挙」・「買い物」・「広報」について

報告書

平成23年度

富士市総務部広報広聴課

目 次

| | |
|--|----|
| 調査の概要 | 3 |
| 調査対象者の属性 | 9 |
| 質問と単純集計結果 | 17 |
| 調査結果 | 29 |
| 「選挙の投票について」 | 29 |
| （1） 富士市議会議員選挙への関心 | 29 |
| （2） 支持政党の有無 | 31 |
| （3） 今回の富士市議会選挙を何で知ったか | 33 |
| （4） 投票率低下傾向の原因 | 36 |
| （5） 棄権に対する考え | 38 |
| （6） 今回の富士市議会議員選挙での投票状況 | 40 |
| （7） 投票した理由 | 42 |
| （8） 投票した候補者を選んだ理由 | 44 |
| （9） 候補者を決める際に役立ったもの | 47 |
| （10） 投票しなかった理由 | 49 |
| 「買い物の動向について」 | 51 |
| （1） 自分で買い物に行くか | 51 |
| （2） 買い物に行くときの交通手段 | 53 |
| （3） 利用する店までの距離 | 55 |
| （4） 買い物へ行く頻度 | 58 |
| （5） 買い物でよく利用する店舗数 | 60 |
| （6） 店を選ぶとき重視するポイント | 62 |
| （7） 買い物において困っていること 生鮮食品（野菜・鮮魚・精肉） | 64 |
| （8） 買い物において困っていること 生鮮食品以外の食品 | 67 |
| （9） 買い物において困っていること 日用品（生活雑貨・衣類・薬品） | 70 |
| （10） 買い物支援サービスの利用状況 | 73 |
| （11） 利用したことのある買い物支援サービス | 75 |
| （12） 買い物支援サービスを利用しない理由 | 77 |
| （13） 買い物環境を改善するために必要なこと | 79 |
| （14） 富士市に「買い物弱者」「買い物難民」の問題があるか | 82 |

| | |
|---|-----|
| 「広報について」 | 85 |
| （１） 「広報ふじ」が発行日から家庭に届くまでの日数 | 85 |
| （２） 「広報ふじ」の閲読状況 | 88 |
| （３） 「広報ふじ」で知りたいこと・取り上げてほしいこと | 91 |
| （４） 「市民暮らしのカレンダー」の利用状況 | 94 |
| （５） 「ムーバー」の閲読状況 | 97 |
| （６） 「ムーバー」の配布への意見 | 99 |
| （７） 「 ^{ラジオ エフ} Radio-f (84.4MHz)」の聴取状況 | 101 |
| （８） 「 ^{ラジオ エフ} Radio-f (84.4MHz)」の聴取頻度 | 103 |
| （９） 「 ^{ラジオ エフ} Radio-f (84.4MHz)」で聞きたい番組内容 | 105 |
| （10） ケーブルテレビ放送の富士市独自番組の視聴状況 | 108 |
| （11） 災害時にどのような方法で市の情報を得たいか | 110 |
| | |
| 自由意見 | 115 |
| | |
| 「選挙の投票」について | 115 |
| 1 投票方法に関する意見 120件 | 115 |
| 2 投票所の立地・箇所数に関する意見 82件 | 121 |
| 3 投票所の環境（設備・支援など）に関する意見 23件 | 125 |
| 4 投票の期間・日時に関する意見 22件 | 126 |
| 5 投票への賞罰に関する意見 77件 | 127 |
| 6 行政・議員に関する意見 483件 | 131 |
| 7 選挙啓発・広報に関する意見 128件 | 161 |
| 8 選挙の教育・若年層への働きかけに関する意見 80件 | 169 |
| 9 有権者個人の意識に関する意見 24件 | 174 |
| 10 その他に関する意見 47件 | 175 |
| | |
| 「買い物の動向」について | 178 |
| 1 交通手段や店舗の立地に関する意見 134件 | 178 |
| 2 小規模店舗・個人商店の衰退に関する意見 18件 | 187 |
| 3 駅周辺に関する意見 13件 | 188 |
| 4 店舗や商品の多様化ニーズに関する意見 117件 | 189 |
| 5 食の安全に関する意見 11件 | 195 |
| 6 店舗の営業形態やサービスに関する意見 52件 | 196 |
| 7 その他に関する意見 18件 | 199 |
| | |
| 「広報」について | 201 |
| 1 同報無線放送の内容や方法に関する意見 57件 | 201 |
| 2 同報無線放送が聞こえにくいことに関する意見 100件 | 204 |
| 3 同報無線放送メールサービスに関する意見 17件 | 210 |
| 4 防災ラジオに関する意見 27件 | 211 |

| | | | |
|----|-----------------------------|------|-----|
| 5 | Radio-f（ラジオエフ）ケーブルテレビに関する意見 | 13件 | 212 |
| 6 | 「広報ふじ」発行頻度や部数に関する意見 | 31件 | 213 |
| 7 | 「広報ふじ」と市政の連動に関する意見 | 11件 | 215 |
| 8 | 「広報ふじ」に関するその他の意見 | 157件 | 216 |
| 9 | 富士市のメールサービス・ウェブサイトに関する意見 | 12件 | 224 |
| 10 | 広報印刷物に関する意見 | 12件 | 225 |
| 11 | 広報全般に関する意見 | 51件 | 225 |
| 12 | その他に関する意見 | 34件 | 228 |

| | |
|-------|-----|
| 結果の数表 | 233 |
|-------|-----|

| | |
|--------|-----|
| 年度別テーマ | 287 |
|--------|-----|

付録 調査票

調査の概要

調査の概要

1 調査の目的

本調査は、富士市の「選挙」・「買い物」・「広報」について、市民の意識・評価・要望などを把握することを目的とした。

2 調査の内容

富士市の「選挙」・「買い物」・「広報」について

3 調査の設計

- (1) 調査地域 富士市全域
- (2) 調査対象 富士市在住の満20歳以上80歳未満の男女
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から等間隔無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送調査
- (6) 調査期間 平成23年 6 月15日 ~ 6 月30日
- (7) 調査機関 (株)サーベイリサーチセンター静岡事務所

4 回収結果

- (1) 発送数 3,000人 (100.0%)
- (2) 回収数 1,834人 (61.1%)
- (3) 有効回収数 1,832人 (61.1%)

有効回収数は、回収したが記入のない(または少ない)調査票を除いて集計した数。

5 地区別回収率

| 居住地区 | 発送数（人） | 有効回収数（人） | 回収率 |
|-------|--------|----------|-------|
| 吉原 | 166 | 96 | 57.8% |
| 伝法 | 144 | 89 | 61.8% |
| 今泉 | 152 | 115 | 75.7% |
| 神戸 | 43 | 28 | 65.1% |
| 広見 | 159 | 81 | 50.9% |
| 青葉台 | 85 | 38 | 44.7% |
| 大淵 | 140 | 109 | 77.9% |
| 富士見台 | 78 | 45 | 57.7% |
| 原田 | 85 | 51 | 60.0% |
| 吉永 | 84 | 49 | 58.3% |
| 吉永北 | 35 | 15 | 42.9% |
| 須津 | 95 | 60 | 63.2% |
| 浮島 | 23 | 12 | 52.2% |
| 元吉原 | 117 | 78 | 66.7% |
| 富士駅北 | 166 | 124 | 74.7% |
| 富士北 | 87 | 22 | 25.3% |
| 富士駅南 | 165 | 109 | 66.1% |
| 田子浦 | 181 | 98 | 54.1% |
| 富士南 | 190 | 116 | 61.1% |
| 岩松 | 135 | 82 | 60.7% |
| 岩松北 | 107 | 47 | 43.9% |
| 鷹岡 | 136 | 90 | 66.2% |
| 丘 | 144 | 56 | 38.9% |
| 天間 | 78 | 51 | 65.4% |
| 富士川 | 115 | 84 | 73.0% |
| 松野 | 89 | 49 | 55.1% |
| その他 | 1 | - | - |
| わからない | - | 17 | - |
| 無回答 | - | 21 | - |
| 合計 | 3,000 | 1,832 | 61.1% |

報告書を読む際の注意事項

- 1 比率はすべて百分比であらわし、小数点以下第2位を四捨五入している。このため百分比の合計が100%にならないことがある。
- 2 基数となるべき調査数は、Nまたは調査数と表示しており、回答比率はこれを100%として算出した。
- 3 質問の終わりに(M.A.)とあるのは、一人の対象者が2つ以上の回答をしてもよい設問であり、その百分比の合計は100%を超える場合がある。
(M.A.=Multiple Answerの略)
- 4 分析の軸として用いたライフステージは、次のように分類している。

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 独身期 | 20～30代の未婚者 |
| 家族形成期 | 第一子が未就学児、または40歳未満の夫婦のみ |
| 家族成長前期 | 第一子が小・中学生 |
| 家族成長後期 | 第一子が高校・大学生 (大学生・短大生・専門学校生・浪人生を含む) |
| 家族成熟期 | 第一子が学校教育終了 |
| 老齢期 | 60歳以上の人 |

家族形成期～家族成熟期の子どもがいる人は、いずれも60歳未満の人とした。40代・50代の未婚者、40代・50代の夫婦のみなど、分類されていない層がある。

